

サンゴ

サンゴはクラゲやイソギンチャクの仲間です。ポリプとよばれる柔らかい体は、袋状で口の周囲に触手をもち、基部に石灰質の骨格をつくります。卵で増えるほか、ポリプが分裂して群体をつくります。

サンゴの骨格には、ポリプが付着していた痕が残ります。種によっては六角形のハチの巣状のもようがあることから、骨格だけ見てもポリプの密集していたようすがわかります。

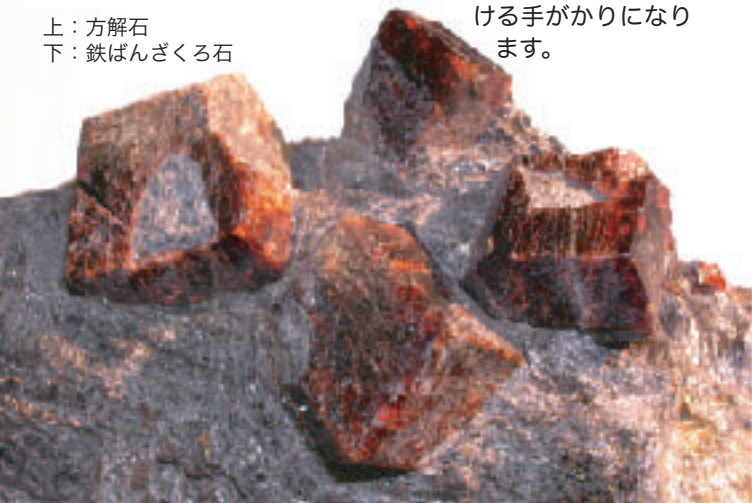
鉱物と結晶

鉱物は一定の化学組成をもち、均質です。原子が規則正しくならび、平面で囲まれた結晶になります。

結晶を囲む平面は決まった角度で交わるので、結晶の形は鉱物を見分ける手がかりになります。



上：方解石
下：鉄ばんざくろ石



シダ

シダ類は古生代に大繁栄した植物です。正月飾りのウラジロ、山菜として食べるワラビやゼンマイもシダ植物です。

シダは下の写真全体が1枚の葉で、小さな葉のように見える部分は羽片（うへん）といいます。羽片はそれぞれが光を効率よく受けとめるように、少しずつ向きが違います。

一つの羽片は、葉全体にそっくりです。全体とその一部分がそっくりなことを、自己相似形といいます。これは特別なものではなく、地形、樹形、雲の形など、自然の中のさまざまなところで見られます。



スターアニス

中華料理に使うスパイス。八方に角があるので、八角（ハッカク）ともいいます。

シキミ（密）と近縁の植物で実もよく似ていますが、シキミは有毒なので食べてはいけません。



ツクバネ

ツクバネの実には4枚の羽根がついていて、風に運ばれやすくなっています。

植物は、種を遠くに運ぶために、いろいろな工夫をしています。花が終わった後にも注目してください。

オレンジ

中身はたくさん詰め込みたいけれど、包みはできるだけ小さくしたい。その望みをかなえるのが球です。卵や果実は、球に近い形をしています。

オレンジの内部は袋に分かれていて、その数は果実の外見や大小とはあまり関係がありません。袋のものは、花や果実に水や栄養を運ぶ通り道で、その数はつぼみの頃の栄養状態で決まります。

